

一般社団法人長野県原種センター

平成29年度事業報告書

[概 況]

我が国の農業は、国民生活に不可欠な食料等を供給するとともに、地域経済や文化を支え、さらには環境保全等にも役立つ重要な産業であるにもかかわらず、農業労働力の量的・質的な低下、耕作面積の減少、集落機能の低下、輸入農産物の増大、生産資材等の上昇など多くの課題を抱えています。

政府は農業を成長産業として位置付け、国際化に対応した国内生産の体質強化に向けた農業改革を進めており、昨年度はTPP11やEUとの経済連携協定など農業の国際化が一層進展するとともに、「農業競争力強化支援法」や「主要農作物種子法を廃止する法律」等農業改革関連法に基づき生産現場の競争力強化に向けた施策を講じるなど、農業・農村は大きな変革期にあります。

こうした状況の中、平成29年度の当センターの事業につきましては、会員をはじめ関係機関・団体、農業者等のご支援ご協力の下に、職員一丸となって取り組んでまいりました。

主要農作物等の原種・種子生産供給事業につきましては、日照不足や降雨・台風の影響により一部品目で計画数量を確保できない状況となりましたが、全体的にはほぼ需要数量を確保することができました。

野菜種子等の生産販売事業につきましては、天候不良で生産計画を下回る品目があったものの備蓄種子と合わせて概ね需要に即した数量を確保できましたが、販売面では主力品目であるキャベツ・野沢菜・レタスの需要の減少傾向が続いており、計画・前年を下回る結果となりました。野菜等苗及び果樹原穂木等の生産販売事業につきましては、新品種への旺盛な需要等により計画を上回る結果となりました。きのこ母菌等生産販売事業につきましては、第6期事業(平成28～30年)の計画に沿った事業運営と母菌の安全・安定供給ができました。

経営基盤を支える基本財産等の運用につきましては、国債等を中心とした安全かつ効率的な運用に努め、概ね計画どおりの運用益を確保することができました。

[各部・事業別の実施状況]

1. 総務部

(1) 総務関係

ア 基本財産の運用については、基本財産運用規程及び運用計画に基づき、長野県信連の定期貯金550万円及び20年利付国債5億円・30年利付国債5億円により、安全かつ効率的な運用に努めました。

また、特定資産等(減価償却引当資産等)その他財産の運用についても、基本財産の運用に準じて、長野県信連の定期貯金及び地方債・政府保証債による運用を行いました。その結果、概ね計画どおりの運用益を確保することができました。

イ 公益目的支出計画の実施状況については、次のとおりです。(平成25年度より実施)

- 実施事業等 主要農作物原種の生産供給・遺伝資源種子等の保存・きのこ母菌の生産販売(3事業)

- 28年度期末公益目的財産残額 2,119,229,824円
- 29年度公益目的収支差額(赤字額) △ 35,870,018円
- 29年度期末公益目的財産残額 2,083,359,806円
- 完了予定年月日 平成109年3月31日(残り期間79年間)

ウ 固定資産については、耐用年数を超過し老朽化が進んでいた遺伝資源保存施設(長野市松代町)の外壁等の塗装や、主要農作物等の原種生産で使用する農業機械の更新・取得を行いました。

エ 主な開催行事

○ 平成29年

- 5月23日 平成28年度事業及び収支決算監査
- 5月24日 理事会書面決議(事業報告書・貸借対照表等の承認他)
- 6月19日 理事会(事業実施状況・基本財産等の管理(運用)状況報告他)
- 〃 第9回通常総会(事業報告書・貸借対照表等の承認, 役員補欠選任他)
- 〃 臨時理事会(副理事長の選定)

○ 平成30年

- 3月1日 理事会書面決議(事業計画書・収支予算書・基本財産運用計画の承認他)
- 3月23日 理事会(事業概要・基本財産等の管理(運用)状況報告他)
- 〃 第10回通常総会(事業計画書・収支予算書の承認他)

(2) 遺伝資源等保存事業

ア 遺伝資源保存施設の永年貯蔵庫において、受託方式により、植物遺伝資源種子及び長野県農業関係試験場からの預かり種子3,000点余の保存管理を行いました。

また、長野県の農業関係試験場において新品種の育成等に用いる種子の入出庫を行いました。

イ 同施設の中・長期貯蔵庫において、主要農作物種子の生産に用いる原種等の貯蔵及び入出庫を行いました。

2. 農産部

(1) 主要農作物原種生産供給事業

ア 長野県の主要農作物生産振興方針等に基づく種子生産計画に連動した原種生産計画を策定し、直営及び栽培管理委託により高品質原種生産に努めました。

また、原種生産ほ場におけるほ場審査及び現地指導会、反省検討会の開催等により栽培管理受託者の技術向上に努めました。

水稻原種の栽培管理委託先の地域において、種子伝染性病害の発生が確認されたため、状況調査や近隣ほ場での抜き取り、保菌状況調査などの対応を行うとともに、不足する原種の調達を行いました。

品質管理においては、生産した12品種・15点についてDNA分析による品種鑑定を行い、純度の高い原種供給に向けた取り組みを行いました。

イ 水稲は、208 a で直営・栽培管理委託により 9.3 t (計画比 93%) を生産し、備蓄原種等を含め 9.1 t を供給しました。

麦は、129 a で直営・栽培管理委託により 5.7 t (計画比 115%) を生産し、備蓄原種を含め 7.0 t を供給しました。

大豆は、130 a で栽培管理委託により 2.0 t (計画比 103%) を生産し、備蓄原種を含め 1.8 t を供給しました。

そばは、320 a で栽培管理委託により 2.4 t (計画比 82%) を生産し、備蓄原種を含め 1.9 t を供給しました。

ウ 主要農作物原種全体では、生産は計画対比 98%、供給は前年対比 102%となりました。

(2) 主要農作物種子生産事業

ア 主要農作物の生産振興方針や需要動向を踏まえた種子生産計画を策定し、長野県、J A 全農長野、種子場 J A 及び関係団体との連携のもと、採種技術研修会や採種ほ現地指導会を開催して生産者の技術向上に努めるとともに、作柄調査等により種子生産見込量の把握を行い、需要数量の確保に努めました。

また、自然災害等の緊急時の対応と種子の安定供給のため、水稲・麦・大豆・そば種子の備蓄を行いました。

イ 水 稲

田植期以降 6 月上中旬の低温により生育の遅れが見られましたが、7 月は高温傾向で推移したことから、県下各地の出穂期は平年より 2～4 日程度早まりました。8 月は曇りや雨の日が多く日照時間が少なくなりましたが、9 月は多くなったことから、全県の収穫盛期は平年より 1 日早くなりました。こうした生育経過のなか、県下の作況指数は平年並みの 101 となりました。

種子生産については、茎数不足や登熟期間中の日照不足、収穫時期の降雨や台風による刈り取り作業の遅れなどから、一部の品種において計画を下回りました。

一部の採種 J A において、種子伝染性病害の発生が確認されたため、関係機関とともに、調査や抜き取り、区分出荷等の生産段階での対応、並びに、種子確保・流通対策に取り組みました。今後も関係機関と連携して、生産現場における基本技術の励行の徹底と効果的な防除対策に取り組んでまいります。

水稲種子全体では、生産量 1,177 t で計画対比 104%、供給量は 987 t となりました。

ウ 麦

播種期から越冬前まで気温がやや高めに推移したため、草丈・茎数とも平年並みとなりました。4 月に入り寒暖の差が大きかったものの、出穂期は大麦・小麦ともに平年より 3 日程度早まり、収穫時期も 5 日程度早まりました。また、収穫時期における台風の接近により、降雨後の収穫となったものは品質低下が見られました。

種子生産については、稲の収穫作業の遅れに伴う播種作業の遅延もあり、一部の品種において計画を下回りましたが、買増しや転用による種子確保を行い、全体では生産量 280 t で計画対比 101%、供給量は 271 t となりました。

また、昨年多発したさび病については、防除の徹底等により問題となりませんでした。

エ 大豆

播種期以降生育は全体的に順調に推移し、一部で早播きによる倒伏や麦後の晩播での生育不良が見られたものの、大きな問題とはなりませんでした。成熟期の降雨などにより、しわ粒等の発生が多く、品質は前年産を下回りました。

種子生産については、一部の品種で契約数量を下回ったものの、全体では生産量 73 t で計画対比 114%、供給量は 64 t となりました。

オ そば

夏そばは、播種後の干ばつにより草丈が短く生育も劣ったことから、低収量となりました。また、秋そばは、播種後の降雨による湿害や台風の影響による倒伏・脱粒があったため、4年連続の不作となりました。

種子生産については、夏そばは転用を含めて種子を確保しました。また、秋そばは、「信濃1号」については新規採種ほを確保して取り組みましたが、作柄不良により計画数量の確保ができない状況となりました。「長野S8号」についても1採種JAで大幅な収量減となったことから計画数量の確保ができず、そば種子全体では、生産量 30 t で計画対比 81%、供給量は 27 t となりました。

カ 主要農作物種子全体では、計画対比 103%の確保となり、水稻・麦・大豆については、需要を踏まえた種子の確保ができました。

(3) 主な開催行事

○ 平成 29 年

- 4月21日 第1回農産専門委員会（大豆及びそば原種・採種ほ設置計画他）
- 4月25日 大豆採種ほ設置会議・技術研修会
- 5月16～ 麦採種ほ作柄調査・現地指導会（JA松本ハイランド・信州うえだ他）
29日
- 5月22日 麦原種ほ審査会（須坂市）
- 7月7日 夏そば採種ほ作柄調査・現地指導会（JA上伊那）
- 7月25日 第2回農産専門委員会（麦種子価格決定、水稻・大豆種子備蓄計画他）
- 8月7～ 大豆採種ほ作柄調査・現地指導会（JA松本ハイランド・信州うえだ他）
18日
- 8月21～ 水稻採種ほ作柄調査・現地指導会（JAグリーン長野・佐久浅間他）
30日
- 8月24日 水稻原種ほ審査会（須坂市）
- 9月5日 水稻原種ほ審査会（須坂市・長野市）
- 9月27日 第3回農産専門委員会（麦原種・採種ほ設置計画、そば種子備蓄計画他）
- 10月2～ 秋そば採種ほ作柄調査・現地指導会（JA上伊那・信州諏訪他）
5日
- ” そば原種ほ審査会（青木村・飯島町）
- 10月3日 麦採種ほ設置会議・技術研修会
- 10月12日 大豆原種ほ審査会（上田市）
- 11月30日 第4回農産専門委員会（水稻種子価格決定、種子確保対応方針他）

○ 平成 30 年

- 2月14日 第5回農産専門委員会（水稻原種・採種ほ設置計画，大豆種子価格決定）
- 3月2日 水稻採種ほ設置会議・技術研修会
- 3月6日 水稻原種生産反省検討会（技術研修他）

3. 園芸部

(1) 野菜等種子生産事業

- ア 試験研究機関・関係団体の指導協力を得て、採種技術研修会や現地検討会を開催し、採種技術の向上や新たな採種農家の育成を図りました。
また、委託採種者の高齢化に対応した野菜等種子の安定生産に向けて、直営採種事業への取り組みを強化し、安定採種に努めました。
- イ キャベツについては、一部ほ場で定植以降の長雨による生育不良により全株不抽だいとなり、採種中止となったことから大幅な減収となり、計画対比 33%の生産となりました。
- ウ 野沢菜については、一部ほ場では種後の長雨の影響による湿害・欠株が発生したことや、開花期間中の低温により受精不良となったことから、計画対比 71%の生産となりました。
- エ レタスについては、開花から登熟期の曇天・長雨・日照不足により、品種によって受精不良となったことから、計画対比 86%の生産となりました。
- オ 野菜等種子全体では、備蓄種子を合わせ全品種とも概ね需要に即した数量を確保することができました。

(2) 野菜等種子販売事業

- ア キャベツについては、有望後継品種がない状況から減少傾向が続き、引き続き苦戦を強いられております。
- イ レタスについては、大手種苗会社による根腐病(レースⅡ)耐病性新品種の販売により年々大幅な減少となっておりますが、中信地域を主とするレタス根腐病(レースⅠ)抵抗性品種の「シナノホープ」や、東信地域を主とする晩抽性が強く形質の優れた品種である「サマーエース」、レタス根腐病(レースⅠ・Ⅱ)複合抵抗性品種の「シナノパワー」などは、会員・生産者から引き続き評価をいただくことができました。
- ウ 野菜等種子全体では、主力品目であるキャベツ・レタスの需要が減少していることから、計画比で 61%、前年対比 89%の販売となりました。

(3) 野菜等苗生産販売事業

- ア イチゴ原苗については、会員・生産者からの需要が高まったことから、計画対比 128%の販売となりました。

イ わさび苗については、わさび需要の減少により販売数量は年々減少しておりますが、安定供給に向けて原原苗を更新し、高品質苗の生産に取り組んだことから、計画対比 108%の販売となりました。

ウ 野菜等苗全体では、計画対比 123%の販売となりました。

(4) 果樹原穂木等生産販売事業

ア 果樹原穂木については、当センター母樹園での長野県職務育成品種及びウイルスフリー品種の生産及び安定供給に努めました。

イ 果樹種苗事業全体では、新品種のぶどう「ブドウ長果 1 1」及びネクタリン「ネクタリン長果 2」の早期苗木生産のため、長野県より生産許可を取得し、会員への原穂木供給の増加により、計画対比 101%の販売となりました。

(5) 園芸種苗事業全体では、計画対比 68%、前年対比 94%の販売となりました。

(6) きのこと母菌等生産販売事業

ア 「第 6 期(平成 28~30 年度)きのこと原種菌生産供給事業」の計画内容に基づき、製造等業務委託先である長野県農村工業研究所をはじめ、JA 全農長野及び JA 種菌センターと連携を図り、長野県野菜花き試験場菌茸部の協力を得るなかで高品質母菌の安定供給に努めました。

また、事業運営については、母菌の販売代金に加え、県からの助成や JA 全農長野及び各 JA からの受託料・負担金により、円滑に行うことができました。

イ 生産した母菌について、JA 種菌センター、野菜花き試験場及び農家によるモニター栽培を実施し、生産現場に近い栽培環境下において母菌の変異・異変の情報を早期に把握し対応するなど、母菌の品質管理に努めました。

ウ えのきたけ母菌については、長野県農工研育成の「G-6 号」や「iQ2」、野菜花き試験場育成の「長菌 17 号」(出願名称: シナノアーリー)の生産を行い、1,198 本を販売しました。

また、ぶなしめじ母菌については、長野県農工研育成の「NN-11・12」の生産を行い、859 本を販売しました。

その他、野菜花き試験場育成のバイリング「シナノ淡雪」を合わせ、母菌全体では 2,060 本を生産・販売し、計画数量比 99%・計画金額比 99%となりました。

(7) 主な開催行事

○ 平成 29 年

5 月 31 日 トマト委託採種ほ母株調査及び交配技術現地指導会 (JA あづみ)

6 月 28 日 ピーマン採種ほ母株調査及び交配技術現地指導会 (JA あづみ他)

- 7月6日 キャベツ交配種子栽培検定調査（塩尻市）
- 7月26日 県職務育成品種果樹苗木生産状況調査（～10月11日，果樹協・JA）
- 8月9日 果菜類交配種子栽培検定調査（JAあづみ）
- 8月28日 レタス種子栽培検定調査（上田市）
- 11月2日 県外レタス産地視察研修（茨城県）

○ 平成30年

- 1月24日 園芸専門委員会きのこと部会（平成30年度きのこと原種菌生産供給事業基本方針・母菌価格の決定）

4. 種子事故・災害等補填事業

生産または販売を行う種苗について、気象災害や不慮の事故により損害が発生した場合の損失や、主要農作物種子の備蓄残量等の処理にともなう差損を補填するため、種子事故・災害等補填事業要領及び要項に基づき、準備金の積立て及び積立金より補填金の支払いを行いました。

(1) 準備金の積立て 27,291,621円

(2) 補填金の支払い

ア 主要農作物種子共助 31,200円

水稲種子生産におけるほ場審査不合格にともなう補填

イ 主要農作物種子残量処理 113,375,351円

水稲・麦・大豆・そば種子の残量処理にともなう差損補填

ウ 園芸種苗共助 290,508円

キャベツ・野沢菜・レタス種子委託生産における気象災害等にともなう減収補填

エ 計 113,697,059円

[事業報告書 別表]

平成29年度種苗等生産供給・販売実績

1. 主要農作物等原種

(1) 水稻原種

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給実績	備 考
			数 量	計画比	数 量	
うるち	コシヒカリ	kg 6,140	kg 6,140	% 100	kg 6,467	飼料イネ
	あきたこまち	860	860	100	870	
	風さやか	480	575	119	782	
	ひとめぼれ	0	0	—	149	
	天竜乙女	0	0	—	45	
	ゆめしなの	190	105	55	30	
	きらりん	0	0	—	29	
	ふくおこし	0	0	—	60	
	(小計)	7,670	7,680	100	8,432	
もち	もちひかり	290	230	79	146	
	カグヤモチ	290	105	36	27	
	モリモリモチ	190	60	31	68	
	オラガモチ	190	170	89	20	
	(小計)	960	565	58	261	
酒米 (醸造用米)	美山錦	580	475	81	304	出願名称: 山恵錦
	ひとごごち	290	260	89	90	
	金紋錦	0	0	—	20	
	しらかば錦	240	190	79	7	
	信交酒545号	240	150	62	0	
	(小計)	1,350	1,075	79	421	
合 計		9,980	9,320	93	9,114	

(2) 麦原種

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給実績	備 考
			数 量	計画比	数 量	
大 麦	シュンライ	kg 1,125	kg 950	% 84	kg 1,080	出願名称: ホワイトファイバー
	ファイバースノウ	0	0	—	400	
	東山皮糯109号	1,080	1,160	107	900	
	(小計)	2,205	2,110	95	2,380	
小 麦	ゆめきらり	1,050	1,300	123	1,080	
	ハナマンテン	700	1,200	171	1,015	
	しゅんよう	0	0	—	920	
	シラネコムギ	0	0	—	600	
	ゆめかおり	700	825	117	495	
	ユメセイキ	0	0	—	590	
	キヌヒメ	350	350	100	0	
	(小計)	2,800	3,675	131	4,700	
合 計		5,005	5,785	115	7,080	

(3)大豆原種

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給実績	備 考
			数 量	計 画 比	数 量	
大 豆	ナカセンナリ	kg 1,050	kg 1,070	% 101	kg 1,036	
	すずほまれ	450	450	100	415	
	ギンレイ	225	250	111	175	
	つぶほまれ	225	255	113	207	
	すずろまん	0	0	—	12	
合 計		1,950	2,025	103	1,845	

(4)そば原種

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給実績	備 考
			数 量	計 画 比	数 量	
秋 そ ば	蕎麦信濃1号	kg 2,000	kg 2,025	% 101	kg 1,148	商標：信州ひすいそば
	長野S8号	800	248	30	692	
	タチアカネ	140	135	96	135	
合 計		2,940	2,408	82	1,975	

※ 生産実績は29年産の原種数量であり、供給実績は29年度中(4月～3月)に供給した原種数量である。(備蓄等を含む)

2. 主要農作物等種子

(1)水稻種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計 画 比		
う る ち	コシヒカリ	kg 835,680	kg 891,460	% 106	kg 744,200	飼料イネ
	あきたこまち	114,920	111,800	97	101,376	
	風さやか	37,440	37,440	100	42,003	
	ひとめぼれ	20,640	20,640	100	13,540	
	天竜乙女	8,640	8,640	100	5,332	
	ゆめしなの	5,180	5,180	100	3,104	
	きらりん	5,180	4,080	78	1,696	
	ふくおこし	7,200	7,200	100	7,108	
(小計)		1,034,880	1,086,440	104	918,359	
も ち	もちひかり	21,160	21,160	100	13,572	
	カグヤモチ	10,800	9,060	83	4,760	
	モリモリモチ	5,400	5,400	100	5,388	
	オラガモチ	2,240	900	40	736	
(小計)		39,600	36,520	92	24,456	
酒 米 (醸造用米)	美山錦	38,400	38,300	99	31,948	出願名称：山恵錦
	ひとごごち	12,000	12,000	100	8,820	
	金紋錦	2,400	2,600	108	2,512	
	しらかば錦	960	1,000	104	980	
	信交酒545号	960	1,000	104	468	
(小計)		54,720	54,900	100	44,728	
合 計		1,129,200	1,177,860	104	987,543	

(2)麦種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計 画 比		
大 麦	シュンライ	kg 54,000	kg 56,400	% 104	kg 59,100	出願名称：ホワイトファイバー
	ファイバースノウ	22,500	22,500	100	21,400	
	東山皮糯109号	20,250	20,450	100	17,900	
	(小計)	96,750	99,350	102	98,400	
小 麦	ゆめきらり	42,000	42,600	101	42,180	
	ハナマンテン	35,000	35,010	100	27,480	
	しゅんよう	34,500	37,500	108	38,610	
	シラネコムギ	24,510	24,510	100	25,530	
	ゆめかおり	21,360	21,330	99	20,640	
	ユメセイキ	21,000	19,920	94	18,840	
(小計)	178,370	180,870	101	173,280		
合 計		275,120	280,220	101	271,680	

(3)大豆種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計 画 比		
大 豆	ナカセンナリ	kg 39,320	kg 49,560	% 126	kg 45,360	
	すずほまれ	12,000	11,160	93	9,480	
	ギンレイ	7,500	7,580	101	4,760	
	つぶほまれ	4,360	4,080	93	4,170	
	すずろまん	600	870	145	870	
合 計		63,780	73,250	114	64,640	

(4)そば種子

種類	品 種 名	生産計画	生産実績		供給量	備 考
			数 量	計 画 比		
夏 そ ば	しなの夏そば	kg 2,000	kg 2,205	% 110	kg 2,318	商標：信州ひすいそば
秋 そ ば	蕎麦信濃1号	25,000	20,948	83	16,448	
	長野S8号	8,595	5,400	62	7,515	
	タチアカネ	1,755	1,755	100	990	
(小計)		35,350	28,103	79	24,953	
合 計		37,350	30,308	81	27,270	

※ 生産実績は29年産の種子数量であり、供給量は29年度中(4月～3月)に供給された種子量である。(備蓄等を含む)

3. 野菜等種子

種 類	品 種	生産実績		販売実績			
		数量	計画比	数量	計画比	金額	計画比
キャベツ	S E	39.5	76	39.4	99	6,418	82
	Y R S E 他	12.7	12	15.5	48	3,242	64
	(小計)	52.2	33	54.9	76	9,660	75
野 沢 菜	ニューシナノ他	215.5	71	254.1	64	3,224	90
レ タ ス	シナノホープ	26.9	57	19.2	64	6,059	59
	サマーエース	13.5	113	7.4	62	2,587	55
	シナノスター他	50.4	107	15.3	40	6,318	37
	(小計)	90.8	86	41.9	52	14,964	47
パセリー	洗馬系	13.7	171	14.7	49	365	49
だいこん	戸隠おろし他	11.8	45	15.3	61	495	60
ト マ ト	なつのしゅん	9.8	65	10.0	51	2,219	48
	らくゆたか他	1.7	170	5.6	49	1,198	52
	(小計)	11.5	72	15.6	50	3,417	50
ピーマン	ベルホープ	25.4	136	27.7	92	5,658	87
	ベルマサリ	2.7	180	2.7	68	643	68
	台パワー	4.4	244	1.7	57	408	56
	(小計)	32.5	148	32.1	87	6,709	82
アスパラガス	ずっとデルチェ他	4.5	38	2.7	90	349	87
えんどう	さやたろう	—	—	14.3	143	58	145
色大豆原種	華大黒他	1,028.8	103	822.0	71	1,026	73
合 計		1,461.3	88	1,267.6	69	40,267	60
		ml	%	ml	%	千円	%
トルコギキョウ	長花交35号他	0.196	20	0.196	20	6	20
		g	%	g	%	千円	%
せんぶり	みまき1号他	1,140	253	1,140	253	259	259
総 合 計						千円	%
						40,532	61

4. 野菜等苗

種 類	品 種	苗形態	生産実績	販売実績			
			数量	数量	計画比	金額	計画比
イチゴ原苗	サマープリンセス サマーエンジェル 章 姫 紅 ほ っ ぺ (小計)	鉢苗	本	本	%	千円	%
			2,490	2,490	102	757	108
			50	50	100	16	160
			11,772	11,772	118	3,671	123
			6,701	6,701	149	2,045	151
			21,013	21,013	124	6,489	128
わさび培養苗	長・野23号	プラグ・鉢苗	15,240	15,240	107	1,969	108
採種用原苗	レタス他	鉢苗	2,361	2,361	98	102	100
合 計			38,614	38,614	115	8,560	123

5. 果樹原穂木他

種類	品種	生産実績	販売実績					
		数量	数量	計画比	金額	計画比		
原穂木 穂木	りんご	シナノスイート	kg 28.0	kg 28.0	% 140	千円 89	% 129	
		シナノゴールド	43.0	43.0	287	132	194	
		シナノリップ	5.0	5.0	10	54	10	
		長ふ12他	19.0	19.0	136	92	131	
		(小計)	95.0	95.0	95	367	49	
	なし	サザンスイート	1.0	1.0	50	8	53	
		ぶどう	ナガノパープル	1.0	1.0	33	8	36
			ブドウ長果11	60.0	60.0	—	648	—
	(小計)	61.0	61.0	2,033	656	2,982		
	もも	なつつこ	6.0	6.0	200	39	205	
		紅晩夏	3.0	3.0	300	16	320	
		(小計)	9.0	9.0	225	55	229	
	ネクタリン	サマークリスタル	1.0	1.0	100	5	71	
		ネクタリン長果2	11.5	11.5	—	124	—	
		(小計)	12.5	12.5	1,250	129	1,843	
あんず	信州大実他	3.5	3.5	88	7	58		
プルーン	サマーキュート他	0.0	0.0	0	0	0		
すもも	スモモ長果1 (シナノパール)	1.0	1.0	100	10	100		
ぶどう台木	5 B B	116.0	116.0	193	438	193		
	101-14	92.0	92.0	131	348	131		
	(小計)	208.0	208.0	160	786	159		
合計		391.0	391.0	152	2,018	147		
果樹証紙		枚 64,020	枚 64,020	% 74	千円 1,933	% 76		
総合計					千円 3,951	% 101		

6. きのこ母菌他

種類	品種	生産実績	販売実績				
		数量	数量	計画比	金額	計画比	
母菌	えのきたけ	長野農工研G-6号	本 312	本 312	% 100	千円 1,441	% 99
		長野農工研iQ2	602	602	100	2,779	100
		長菌17号 (シナノアーリー)	284	284	96	1,311	96
		(小計)	1,198	1,198	99	5,531	99
	ぶなしめじ	NN-11	52	52	100	240	100
		NN-12	807	807	100	3,726	100
		(小計)	859	859	100	3,966	100
	バイリング	シナノ淡雪	3	3	—	14	—
	合計		2,060	2,060	99	9,511	99